

高知市

せっけんのオリーブ



1個100円の廃油せっけん  
買いやすさこそエコである

■活動時期 → 20年くらい前から

■活動場所 → 自宅と出張先

■主な活動メンバー

代表 古味さんとサポーターの方々

【連絡先】せっけんのオリーブ

TEL: 088-894-4228 (代表: 古味)

### (取り組み内容)

家庭から出る廃油をリサイクルしたエコせっけん作りを20年ほど前から実践。採算が取れなくても、手作りの手洗い用せっけんを破格の100円で売り続けている。

#### ◆廃油を使ったせっけん作り

家庭から出続ける使い終わった天ぷら油。みなさんはどういう処分をしているのだろうか？この油は「苛性ソーダ」と「水」さえあればせっけんになる。作りさえ知っていれば、環境にも財布にも優しいことが実はだれにでもできる。

#### ◆せっけんの効果

靴下やワイシャツのよごれ、食器洗いや換気扇の油汚れまで、生活の幅広い用途に利用できる。

#### ◆100円販売のこだわり

せっけんをつかって販売するとなると、この価格では儲けにならない。それでも100円にこだわるのは「買いやすい値段こそがエコだ」という考え方がベースにある。

※採算面は体を洗う高級せっけん（廃油でない高級オイルを使用）の販売で補っている。もちろん天然素材であるため安心安全。

#### ◆廃油の環境影響

廃油500mlを魚たちが生活できるような水にするためには風呂(300L)360杯分もの水が必要。油が排水として流れてしまえば、知らず知らずのうちに環境破壊に参加していることになる。



代表の古味さん



固形だけでなく粉せっけんも



体も洗える高級せっけん

(うれしかったお話)

小学校で子どもたちが発案してくれた米ぬか入りのせっけんがうまくできたときはとてもうれしかったです。やはり感謝の言葉や、お手紙をいただいたときはうれしいです。

#### ◆天ぷら油を使ったせっけんの作り方 (加熱しない方法)

##### (準備するもの)

一斗缶、棒、手袋、マスク、牛乳パックなど型になるもの  
天ぷら油 6L、苛性ソーダ 900g、水 1.8L

##### (手順)

- ①一斗缶に苛性ソーダを入れる
- ②水を入れ静かに混ぜる  
(苛性ソーダと反応して発熱(80度)するので、  
煙のようなものが出る。吸わないように注意!)
- ③天ぷら油 6L を入れる  
(苛性ソーダがよく溶けてから入れる)
- ④15分から40分くらい混ぜるとトロリとしてくる  
(飛び散らないように注意!)
- ⑤トレース (混ぜ跡が残る様子) が出たら型へ流し込み
- ⑥固まりかけたら型から取り出し切り分ける
- ⑦かけ干しにして一ヶ月ねかせる  
(それより早く使うとアルカリ分が強すぎ手が荒れる)



一斗缶に材料を入れて混ぜる



しっかり混ぜれば型へ流し込み

#### ◆せっけんづくり教室

誰にでも作れるということを重視しているため、依頼があれば出向いて行き、せっけんづくり教室を開催する。  
子ども～大人まで比較的簡単につくることができる。  
(※講師料は要相談)

#### ◆取り組みの成果

大きく変わったことはないが、知名度があがり、せっけん作りに興味を持ってくれる人が増えていると感じている。  
この活動をもっと広め、ムダの少ない社会にしたい。

#### ◆取り組みを進めるためのポイント

- ・誰でも出来るという事が大切。
- ・簡単にできて続けられることがエコにつながる。
- ・仲間と一緒にやることで続けやすくなる。

#### ◆県民の皆さんに一言

皆さんもせっけん作りをしてみませんか?  
やってみたいという方がいらっしゃいましたら連絡をして下さい。  
一斗缶と竹の棒を持って教えに行きますよ。

(平成 21 年 9 月現在)